



急性期

命の大事に向き合う。

重症管理室 (ICU) があり、命の緊急時に備えています。また手術後の重症例・院内の急変症例の受け入れも迅速に対応。呼吸療法認定士を中心に、新人ナースは熱意で、ベテランは経験を活かして、ご家族への精神的ケアも合わせ質の高い看護ケアを提供しています。集中力が求められる日々、さまざまな症例を経験するうち看護スキルも磨かれていくはず。地域の期待を一手に担っているという自負と責任。それはそのまま当院の誇りでもあります。



精神科

地域の心強さになる。

精神科救急として24時間体制を整えており、発症・再発の急性期から回復期、社会復帰までの治療やケアを総合的に行なっています。患者様の人権を尊重した看護で、一日も早い社会参加を目指しチームで支援する態勢です。

もっと患者様のために—「精神科身体合併症病棟」。
安心・安全な入院生活をお過ごしいただくために、統合失調症・感情障害・認知症・うつ病などの疾患があり、肺炎や糖尿病、外科的治療が必要な患者様のための病棟を併設しています。

Care of the Heart & Bodyが 私たちの魅力です。

私たちの「リハケアカ」をここから!

地域に密着してきたぶん、暮らす方々の声がよく届き、必要なもの「こと」が見えています。だから「地域の方々の困っていることがあるなら、どんな新しいものを提供していこう」という姿勢で、総合広域リハケアセンターの立ち上げとなりました。

「前向きな勢い」と、「人間的な優しさ」がコンセプト

よりよい生活を目指す
リハビリテーション

より豊かな
人生を目指すケア

“リハケアカ”を
ここから全国に
発信していきたい!

看護師のがんばる気持ちも、前向き!

ADLやQOLから、さらに踏み込んだケアに、「高齢者だから…」「障がい者だから…」という諦めはありません。最期までその人らしく生きるためのお手伝いに、私たちのモチベーションはますます高くなっています。

その人らしさを探すケア。

患者様の「残存能力を最大限に引き出す環境づくりに努める」。そして「良いこと探しのケア」「その人の価値観を知り、その人らしい生活環境を提供する」「ダメと言わない」を大切にしています。

患者様が、日々、楽しく過ごせるよう。
みんなの力を、合わせて、活かす。

多職種によるチームケア

看護師

介護士

作業療法士

臨床心理士

など



回復期リハケア (総合広域リハケアセンター)

高齢化社会への対応。一歩先を行き、真の対応へ。



認知症



こうすればもっといい! こんな改善はどう?
あなたの「声」を聞きたくて。目安箱

働くすべてのスタッフが年2回、理事長宛に書面にて「声」を届けることができます。病院をもっと良くしたいという気持ちに公平で、積極的に取り組みたいからです。

目安箱

Care of the
Heart & Body

心も、その人。体も、その人。だから、バランスのいいケアを。

Cloverに、loveがある。
その愛で看護するのです。

心と体のケアは一体で切り離すことはできません。
そのために看護師はジェネラリストであるべきです。
患者様の生活背景、ご家族の様子まで広い視野で見つめ
看護につなげるハートが必要で、「包括的に見れるジェネラリスト」であり
スペシャリストでなければなりません。
当院のこの看護観や「明るく、前向きに、主体的に」という
理念に賛同していただける人、
自分を磨きあげていこうとする人を待っています。

看護部長 竹内 美佐子



急性期

袖ヶ浦市での急性期対応は当
院だけ。大きな責任をしっか
り受けとめ、努めています。

急性期病棟
青木 拓也

精神科

他病院に先がけ精神科身体併
症病棟を併設。地域の声にお応
えする態勢が整っています。

精神科病棟
三股 友香

それぞれのハートがひとつになって
このまちと、人のためにできることを、もっと。

心と体のケアに欠かせないリ
ハビリの向上を目指し、2012
年に増設しました。

回復期リハビリ病棟
宇都宮 房代

回復期リハビリ
(総合広域リハビリセンター)

自宅や施設での介護が困難に
なった患者様を多職種による
チームでケアします。

認知症病棟
米本 紗希

認知症

